

複数税率(軽減税率)対応 設定手順書

TK-5500 / TK-6500

2019年9月
カシオ計算機株式会社

軽減税率事前設定におけるご留意事項

レシート印字について

軽減税率対応のため、通常税率用、軽減税率用の税テーブルを使用し設定します。

消費税の計算は税テーブルごとに行われるため、税計算の結果印字が、以下赤い囲みのように複数行で印字されるようになります。

また、軽減税率対象の商品には青丸のように、「*」が印字されるようになります。

以下の通り設定されている場合のレシート印字例は、次の通りになります。

商品名	リンク税テーブル	税率・課税ステータス	備考
日用品	税テーブル 1	8% 内税	通常税率用
弁当類	税テーブル 3	8% 内税	軽減税率用
ビール	税テーブル 1	8% 内税	通常税率用
鮮魚	税テーブル 3	8% 内税	軽減税率用

《これまでのレシート印字》

御計算書		
2019年 4月20日(水) 18:00		
担当-A	0001-000250	1名
日用品		600
弁当類		500
ビール		400
鮮魚		300
内税対象計		¥1,000
内税	8.0%	(¥133)
合計		¥1,800
お預り		¥2,000
お釣		¥200

《軽減税率予約設定後のレシート印字》

御計算書		
2019年 4月20日(水) 18:00		
担当-A	0001-000250	1名
日用品		600
弁当類	*	500
ビール		400
鮮魚	*	300
内税対象計		¥1,000
内税	8.0%	(¥74)
内税対象計*		¥800
内税*	8.0%	(¥59)
合計		¥1,800
お預り		¥2,000
お釣		¥200

点検/精算レポート印字について

点検、精算レポートの固定合計器に、軽減税率対象の税テーブル 3(内税:8%)、税テーブル 4(外税:8%)の税対象額、税額が印字されるようになります。(赤い囲み部の印字となります)

《これまでのレポート印字》

御計算書		
2019年 3月20日(水) 21:00		
担当-A	000300	
固定合計器	精算レポート	
日計	0001011	Z 0005

総売上	4点	
		¥1,800
純売上	1件	
		¥1,800
現金在高		¥1,800
現計		¥0
現金-		¥0
現金+		¥0
商品券在高		¥0
クレジット在高		¥0

戻モード		0件

⋮

内税対象計		¥1,000
内税	8.0%	¥74
外税対象額		¥0
外税額	8.0%	¥0
消費税合計		¥133
非課税合計		¥0

《軽減税率予約設定後のレポート印字》

御計算書		
2019年 3月20日(水) 21:00		
担当-A	000300	
固定合計器	精算レポート	
日計	0001011	Z 0005

総売上	4点	
		¥1,800
純売上	1件	
		¥1,800
現金在高		¥1,800
現計		¥0
現金-		¥0
現金+		¥0
商品券在高		¥0
クレジット在高		¥0

戻モード		0件

⋮

内税対象計		¥1,000
内税	8.0%	¥74
外税対象額		¥0
外税額	8.0%	¥0
内税対象計*		¥800
内税*	8.0%	¥59
外税対象額*		¥0
外税額*	8.0%	¥0
消費税合計		¥133
非課税合計		¥0

課税方式の設定について

課税方式を設定すると、直後に設定した課税方式に設定されます。

10月1日以降、各部門、各PLUを同じ課税方式でご使用の場合は、事前に(9月30日までに)設定することが可能です。

例) 以下のように10月1日以降も同じ課税方式を使用される場合は、事前に(9月30日までに)課税方式の変更をすることができます。

～ 9月30日			10月1日～		
部門/PLU	消費税率	課税方式	部門/PLU	消費税率	課税方式
部門1	8%	内税	部門1	10%	内税
PLU 05	8%	外税	PLU 05	8%	外税

10月1日以降、各部門、各PLUの課税方式を変更される場合は、事前に(9月30日までに)設定をすることができません。10月1日の新消費税施行日の当日に設定をお願い致します。

例) 以下のように課税方式を変更される場合は、10月1日当日に課税方式の設定を実施願います。

～ 9月30日			10月1日～		
部門/PLU	消費税率	課税方式	部門/PLU	消費税率	課税方式
部門1	8%	内税	部門1	10%	外税
PLU 05	8%	外税	PLU 05	8%	内税

複数税率(軽減税率)対応事前設定

1 日付・時刻の確認(再設定)

1-1) 日付・時刻の再設定

日付・時刻を今一度正確に合わせます

【例】2019年9月15日の10時30分に設定します

モードスイッチ → 『設定』



2 事前設定(2019年9月30日までに実施)

2-1) 税テーブルの設定

税テーブル1 ~ 税テーブル4 に次の通りに「税率」、「課税ステータス」を設定します

税テーブル1	税テーブル2	税テーブル3	税テーブル4
8% 内税	8% 外税	8% 内税	8% 外税

モードスイッチ → 『設定』



2-2) 消費税の税率端数処理設定

設定数値4桁を入力し「税率端数処理」を設定します。

設定値入力箇所	A	B	C	D
税テーブル	税テーブル1	税テーブル2	税テーブル3	税テーブル4
設定数値	0:四捨五入 1:切り捨て 2:切り上げ			

モードスイッチ → 『設定』



2-3) 税テーブルの予約設定

税テーブル1 ~ 税テーブル4 に次の通りに「税率」、「課税ステータス」を予約設定します

税テーブル1	税テーブル2	税テーブル3	税テーブル4
10% 内税	10% 外税	8% 内税	8% 外税

モードスイッチ → 『設定』



2-4) 消費税の税率変更日予約設定

消費税の税率変更日を2019年10月1日に設定します（税率の変更は午前0時となります）

モードスイッチ → 『設定』

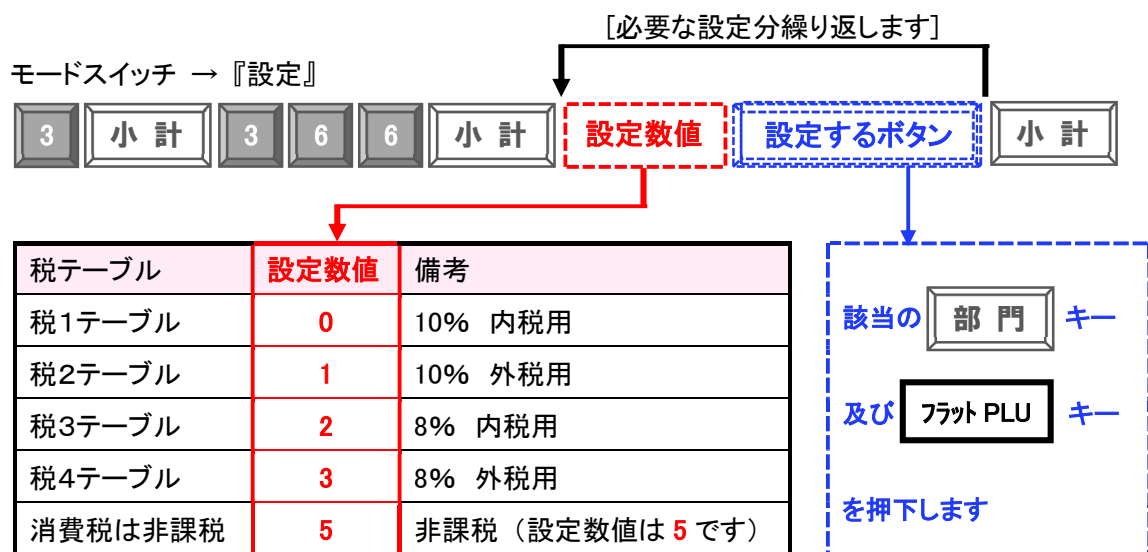


2-5)部門 /フラット PLU 税テーブルリンク設定

10月1日以降、各部門、各フラット PLU を同じ課税方式でご使用になる場合は、事前に(9月30日までに)課税方式を設定することが可能です。

10月1日以降、課税方式を変更する場合は、事前の設定はできません。課税方式を変更して運用されるお客様は、10月1日の新消費税施行日の当日に設定作業をお願いします。

部門キー、フラット PLU キーに税テーブルをリンクします

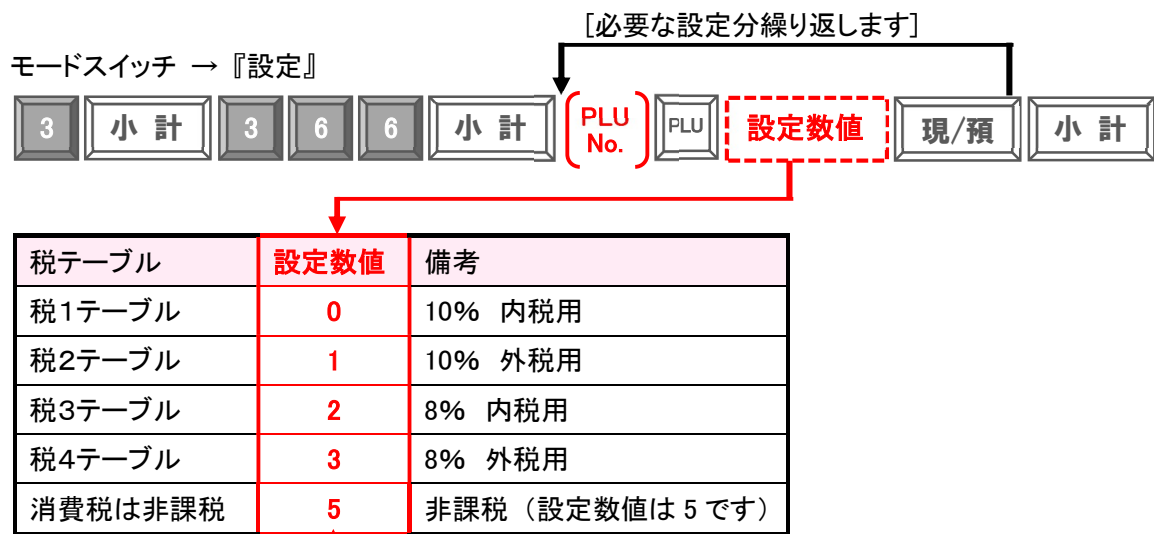


2-6) PLU / スキャンング PLU 税テーブルリンク設定 (設定直後に反映します)

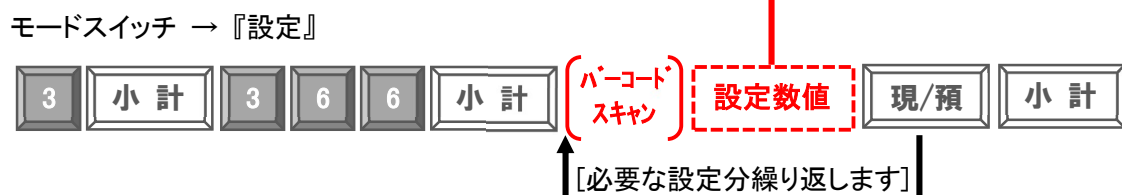
10月1日以降、各 PLU、各スキャンング PLU を同じ課税方式でご使用になる場合は、事前に(9月30日までに)課税方式を設定することが可能です。

10月1日以降、課税方式を変更する場合は、事前の設定はできません。課税方式を変更して運用されるお客様は、10月1日の新消費税施行日の当日に設定作業をお願いします。

■ PLU



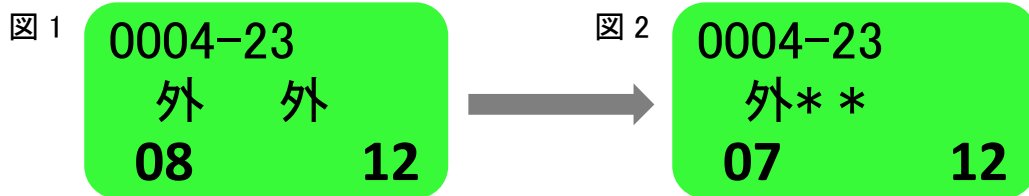
■ スキャンング PLU



2-7)取引シンボル文字の設定

レシートに印字される、軽減税率適用商品を示す「*」のシンボル文字を設定します。













取引シンボル文字の設定画面で、図2の通りに「*」を追加設定します。



《文字の入力について》

「かなめくり方式」とう携帯電話の文字入力に似た方法で入力します。

文字モードにおいては、次の通り各ボタンが、文字入力時の機能ボタンとなります。

ボタン	文字入力時の機能	押下時の動作	本資料での表記
	文字モード切替ボタン	押下するごとに文字モードが 全角ひらがな → 半角かたかな → 半角英字 → 半角数字 → … と切り替ります (モードはループします)	
	カーソル右移動ボタン	押下するごとにカーソルが右へ移動します	
	カーソル左移動ボタン	押下するごとにカーソルが左へ移動します	
	1文字削除ボタン	押下するとカーソルにある文字が削除します	
	記号ボタン	押下するごとに記号を呼び出します	
	かなめくり戻りボタン	押下するとかなめくりが1つ前に戻ります	

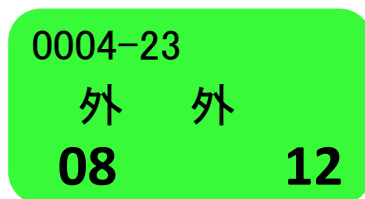
- ① 以下の通りボタンを押下します。

モードスイッチ → 『設定』



以下の表示となります。

図 3



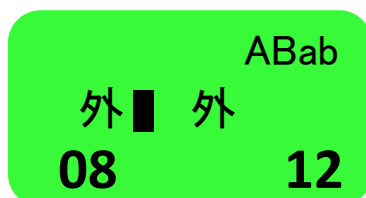
- ② **面切替** を 2 回押下し文字モードを「半角英字」にします

図 4



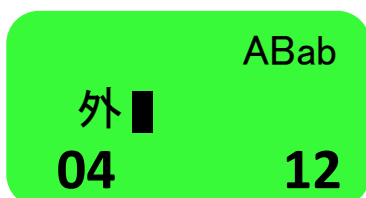
- ③ **登録確認** を 3 回押下しカーソルを左側の「外」の文字のすぐ右隣に移動させます


図 5




- ④ **部門 3** を 3 回押下し右側の「外」の文字を消します

図 6



- ⑤  を11回押下し「*」を表示させます




- ⑥  を2回押下しカーソルを右側へ移動します



半角桁数	1	2	3	4	5	6	7	8
設定文字			外	*		*		

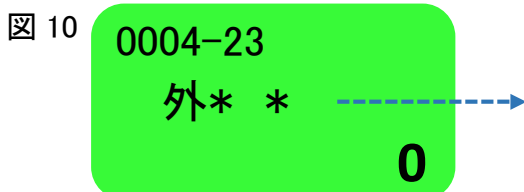
「外」は全角、「*」は半角です。


- ⑦  を11回押下し「*」を表示させます



- ⑧  を押下し設定文字を確定します

(最終的には以下の通りになります)



- ⑨ 最後に  を押下し取引シンボル文字の設定を終了します

2-8) ボトムメッセージの設定

ボトムメッセージに以下の通りの文字を設定し、「*」印字されている商品は、軽減税率対象商品であることを案内する、ボトムメッセージの文言を設定します。

《設定するボトムメッセージの文字》

注) *は軽減税率適用

文字の入力方法は、「2-7) 取引シンボル文字の設定」の場合と同じになります。

モードスイッチ → 『設定』



「注) *は軽減税率適用」と文字を設定



2-9) 固定合計器の文字設定

取引レシートや点検/精算レポートに印字される固定合計器の文字を、軽減税率対象の商品と識別できるよう、次の通り固定合計器の文字を設定します。(青文字の通りに設定します)

No.	印字項目	設定されている文字	変更する(設定する)文字
1	税テーブル3の課税額	内税対象計2	内税対象計*
2	税テーブル3の税額	内税2	内税*
3	税テーブル4の課税額	外税対象計2	外税対象計*
4	税テーブル4の税額	外税2	外税*

設定されている文字の最後の「2」の文字を1文字削除ボタン (部門3) を押下して削除し、「*」代りに設定します。その他の操作は「2-7) 取引シンボル文字の設定」の場合と同じになります。

■ 「内税対象計2」 → 「内税対象計*」 文字設定変更

モードスイッチ → 『設定』



「内税対象計*」と文字を設定



■ 「内税2」 → 「内税*」 文字設定変更

モードスイッチ → 『設定』



「内税*」と文字を設定



■ 「外税対象計2」 → 「外税対象計*」 文字設定変更

モードスイッチ → 『設定』



「外税対象計*」と文字を設定



■ 「外税2」 → 「外税*」 文字設定変更

モードスイッチ → 『設定』



「外税*」と文字を入力



2-10) 点検/精算レポート固定合計器印字制御の設定

初期状態の設定では点検/精算レポート印字において、税テーブル 1 と税テーブル 2 の課税対象額、課税額しか印字しません。税テーブル 3 と税テーブル 4 の課税対象額、税額も印字するように設定します。まず、現在の印字制御設定箇所、他どのような設定がされているか確認をします。

モードスイッチ → 『設定』



設定のリストが印字されますので、「0009-22」のところの設定値を確認します。図 11 の印字例では、設定値は「2730017700」となります。

図 11

...	...
0007-22	0001000000
0008-22	0621037240
0009-22	2730017700
0010-22	2000000000
0011-22	0000000000

続けて「0009-22」の設定値の、頭から 2 桁目と 3 桁目の設定値を次の通りに変更します。

桁目	変更する設置値
頭から 2 桁目	5
頭から 3 桁目	2

モードスイッチ → 『設定』



設定数値変更箇所

最後に間違い無く設定ができたか、再度設定のリストを出力し確認をします。

モードスイッチ → 『設定』



図 12 の設定のリストでは、「2730017700」の設定値が、「2520017700」の設定に変わっていることが確認できます。

図 12

...	...
0007-22	0001000000
0008-22	0621037240
0009-22	2520017700
0010-22	2000000000
0011-22	0000000000
...	...

2-11) 固定合計器の課税ステータス設定

複数の税率を使用する取引に対応するため(軽減税率の取引に対応するため)、、、 の各キーに、次の通り課税ステータスを設定します。

《設定する課税ステータス》

: 非課税 : オール課税 : オール課税

■ の課税ステータス設定

モードスイッチ → 『設定』



■ の課税ステータス設定

モードスイッチ → 『設定』



■ の課税ステータス設定

モードスイッチ → 『設定』



3 2019年10月1日に実施する設定

「ボトムメッセージの印字制御設定」、「単価設定」は設定と同時に設定内容が変更されます。これらの設定変更は予約設定ができないので、2019年10月1日の消費税変更施行日の開店前に実施するようにして下さい。

3-1)ボトムメッセージ印字制御の設定

まず、現在の印字制御設定箇所、他どのような設定がされているか確認をします。

モードスイッチ → 『設定』



設定のリストが印字されますので、「0017-22」のところの設定値を確認します。図12の印字例では、設定値は「0000000000」となります。

図12

0016-22	0000000000
0017-22	0000000000
0018-22	0000000000
0019-22	0000000000

ボトムメッセージ印字制御の設定では、設定数値10桁の最後の数値を「4」に設定します。

モードスイッチ → 『設定』



設定数値変更箇所

最後に間違い無く設定ができたか、再度設定のリストを出力し確認をします。

モードスイッチ → 『設定』



図 13 の設定のリストでは、「0000000000」の設定値が、「0000000004」の設定に変わっていることが確認できます。

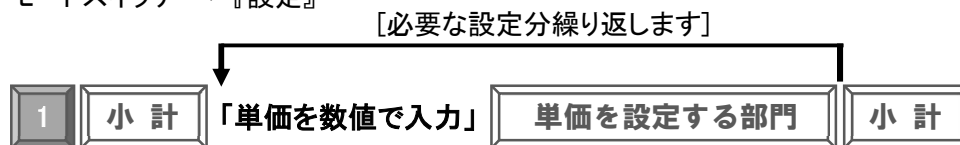
図 13

0016-22	0000000000
0017-22	0000000004
0018-22	0000000000
0019-22	0000000000
⋮	⋮

3-2) 単価設定

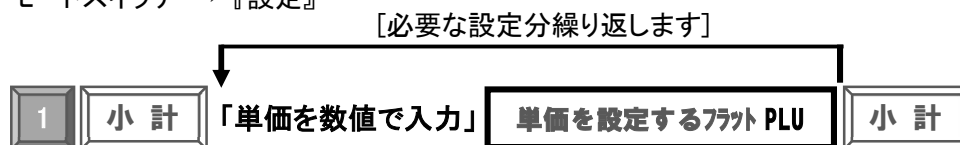
■ 部門

モードスイッチ → 『設定』



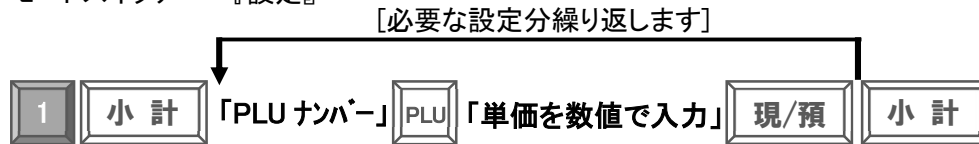
■ フラット PLU

モードスイッチ → 『設定』



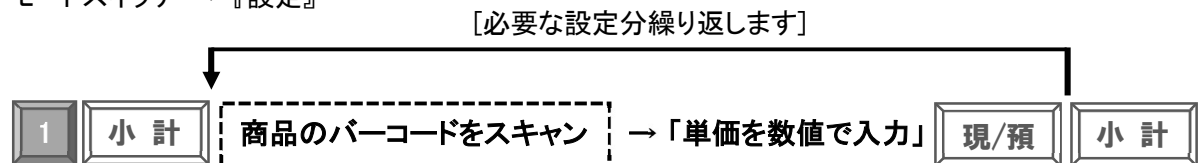
■ PLU

モードスイッチ → 『設定』



■ スキャニング PLU

モードスイッチ → 『設定』



3-3) 課税方式の設定

10月1日から部門、PLU、フラット PLU、スキャニング PLU の課税方式を変更して使用される場合は、使用される課税方式への設定変更を実施します。

設定方法につきましては、事前の課税方式設定（6/17、7/17 ページ）をご参照下さい。

最終ページです。